物價調節の方策

最新農務官 岡本英太郎

現今我國民が生活上の苦痛として感じてゐる點は、總ての生活必需品の價格が常に低廉しない事である。殊に我國の經濟組織が、米穀を中心として立つてゐる關係上、米價の騰貴は、直ちに他の一切の物價を刺戟して騰貴せしめ、從つて米價の下落は、他の一切の物價を下落せしめる傾向を有つてゐる。

從來米價が、朝鮮の經濟上に、又は我國の經濟上に、如何に重大なる關係を有つてゐたかは、米價の變動が、直ちに朝鮮の經濟界に、又は我國の經濟界に、如何に大なる影響を與へたかを見ても明かである。

米價の騰貴は、總ての物價の騰貴を誘致し、從つて一般經濟界の變調を來すものであるから、米價の調節は、實に經濟政策の中心問題である。

米價の調節は、需要と供給との關係を調節するか、又は米穀の消費を節約するか、此二つの方法の外にはない。

需要と供給との關係を調節するには、米穀の生産を增加するか、又は米穀の輸入を增加するかの二つの方法がある。

米穀の生産を增加するには、土地改良、品種改良、肥料改良、耕作改良、灌漑排水の改良、開墾干拓等の諸施設を必要とするが、これ等の諸施設は、何れも多大の經費と長年月とを要するものばかりである。

米穀の輸入を增加するには、米穀の生産國と、我國との間に、交通機關の發達を必要とするが、これ等の諸施設は、何れも多大の經費と長年月とを要するものばかりである。

米穀の消費を節約するには、米穀の消費者たる國民の生活程度を低下せしめるか、又は米穀の代用品を使用せしめるかの二つの方法がある。

國民の生活程度を低下せしめるには、國民の購買力を減少せしめるか、又は物價を騰貴せしめるかの二つの方法がある。

國民の購買力を減少せしめるには、國民の所得を減少するか、又は國民の負擔を增加するかの二つの方法がある。

國民の所得を減少するには、國民の職業を奪ふか、又は國民の賃銀を減少するかの二つの方法がある。

國民の負擔を增加するには、租稅を增加するか、又は國債を發行するかの二つの方法がある。

物價を騰貴せしめるには、通貨を膨脹するか、又は通貨の流通速度を增加するかの二つの方法がある。

通貨を膨脹するには、正貨準備發行制度を變更するか、又は正貨の輸出を禁止するかの二つの方法がある。

通貨の流通速度を增加するには、國民の購買力を增加するか、又は國民の購買慾を增加するかの二つの方法がある。

國民の購買力を增加するには、國民の所得を增加するか、又は國民の負擔を減少するかの二つの方法がある。

國民の購買慾を增加するには、國民の生活程度を向上するか、又は國民の消費節約の美風を廢するかの二つの方法がある。

國民の生活程度を向上するには、國民の職業を增加するか、又は國民の賃銀を增加するかの二つの方法がある。

國民の消費節約の美風を廢するには、國民の負擔を減少するか、又は國債を發行するかの二つの方法がある。

以上述べた諸方法の中、米穀の生産を增加する方法は、最も根本的の方法であるが、これには多大の經費と長年月とを要するから、急速に實行することは出來ない。

米穀の輸入を增加する方法は、米穀の生産國と我國との間に、交通機關の發達を必要とするが、これ等の諸施設は、何れも多大の經費と長年月とを要するから、急速に實行することは出來ない。

米穀の消費を節約する方法は、國民の生活程度を低下せしめるか、又は米穀の代用品を使用せしめるかの二つの方法があるが、國民の生活程度を低下せしめることは、國民の幸福を增進する所以でないから、米穀の代用品を使用せしめる方法が、最も適當な方法であると思ふ。

米穀の代用品を使用せしめる方法は、米穀の消費を節約する方法であるから、米穀の輸入を增加する方法と同樣に、米穀の價格を低下せしめる方法である。

米穀の價格を低下せしめる方法は、米穀の生産を增加する方法と、米穀の輸入を增加する方法とがあるが、米穀の生産を增加する方法は、前述の如く多大の經費と長年月とを要するから、米穀の輸入を增加する方法が、最も適當な方法であると思ふ。

米穀の輸入を增加するには、米穀の生産國と我國との間に、交通機關の發達を必要とするが、これ等の諸施設は、何れも多大の經費と長年月とを要するから、米穀の代用品を使用せしめる方法が、最も適當な方法であると思ふ。

米穀の代用品を使用せしめるには、米穀の代用品を製造する工場を必要とするが、これ等の工場

日齊會議に就て

西伯利撤兵は大成功

【長春三日發電】西伯利亞に駐屯せる日齊聯合軍の撤兵に關し日齊會議の開かるゝや否やに關しては目下未だ何等の發表なきも日齊會議は既に豫定の如く開かるゝものと見做さるゝに至れり而して日齊會議の開かるゝ場所は目下の處ハルビンと豫定せらるゝに至れるが日齊會議は列國と協議の上撤兵分擔することになるだらう

間島治安問題
閣議不出兵に決す

朝鮮より警官急派、鮮内の不足を内地より補はんか

【東京電報】四日の閣議にて間島治安維持に關する帝國の處置を協議したる結果鮮内の警備兵の數を增加し又警官を急派して暴徒の鎭壓に當らしむることに決し出兵は之を見合すことゝなれり尙ほ間島地方の警備は從來とも鮮内の兵力を以て之に當り來りたるを以て今回も亦之を以て足れりとなし出兵は之を見合すことゝなれるものなり

北京政府
馬賊討伐を命ず

【北京四日發電】張作霖は政府の命令に從ひ馬賊討伐の爲め出動し形式ながら吉林省の馬賊掃蕩に關し馬賊討伐を命せり

間島方面情勢彙報

【東京電報】間島方面の情勢は最近に於ても別に變化なく平穩に經過しつゝあるが如し

【東京電報】間島地方の馬賊

慶州から消えゆく
西鮮瞬目
残月生

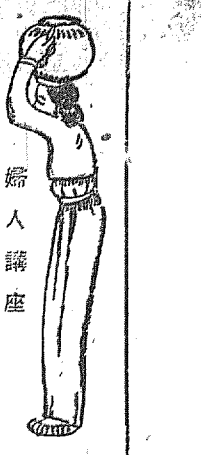
慶州名物として最も後世に残すべき物は、らく鐘楼鐘閣の一方ならざる物語りである。鐘閣は、はやくも跡を留めんでみる所である。一度は戦禍を蒙って焼失し、七千貫目を数えた鐘の音を聞かせたいと思つてゐる。昨年七月慶州を訪ねた時、鐘閣は一層荒廃の度を増して、屋根は落ち、柱は朽ち、鐘楼は今にも倒れんばかりの危険な状態にあつた。鐘閣の荒廃は、慶州の人々の心の荒廃を物語るものである。慶州に古くから伝はる美しい伝説の一つに、鐘閣に関するものがある。

昔、新羅の聖徳王が、国家鎮護の為めに大鐘を鋳造しようと思ひ立つた。王は、国内の金属を集めて、鐘の製作に着手したが、何度鋳造しても、鐘の音が出ない

婦人講座

無我の愛に生きよ（下）

金力も名譽も學問も人生の根本的でない



夏と婦人

令嬢達が主婦となりお母樣が客となつて

避暑地での樂しい簡易生活も此夏はやめて傳道に努力

京城高等法院○○○夫人　渡邊たつ子さん

京城高等法院長○○○○夫人たつ子さんは熟心な基督教信者で此頃の暑さは殊に信仰生活にある張三十年に近く目下當地では日本婦人會の會長として立つてゐられます。來る町の官舍の庭に夫人の令夏の生活機關を語れて夫人の令夏の生活機關を語れて夫人の令夏の生活機關を語れて

宮邸夕迄に二重橋へ
は既に脱稿した——二荒芳徳談

新財務局長和田さんの家庭

（寫眞右から大男總四郎さん、主人の和田さん、長女みほ子さん、二男榮一さん）

撤兵は國策として止むを得ないが
シベリアの鮮人は棄てられる
最近西伯利亞から歸った 某鮮人有力者は語る

目下西伯利亞兵營内に叫ばれて居る撤兵問題に就いて歸鮮して居る矢先お近くの間島では馬賊討伐隊を派遣なさつた關係上、今回は撤兵を必ずしも喜ばない傾向がある樣だが、一體西伯利亞の鮮人有力者は撤兵問題に就いて如何に考へて居るか、又現在の露國内部の狀態は如何なものであるか等に關して、最近西伯利亞から歸つた某鮮人有力者は次の樣に語つた

私は西伯利亞地方に在住して居る鮮人の生活狀態を觀察して來ました彼等の大部分は定職もなく不安定な生活をして居ます從つて此所に少しでも動搖があれば直ちに其の方に風靡されて仕舞ふといふ有樣です彼の地の鮮人が單純で附和雷同し易いと云ふ點は彼等の缺點でもあるが又美點でもあるらしいと思ひます、無論彼の秋風四散の狀態から見ても露國の將來は到底統一の出來ない事は明かですから、露國の將來に對しては全く絶望の狀態にあります、從つて鮮人は露國の將來に對しては何等の期待をも持つて居ないのです、露國の將來に對しては何等の期待をも持つて居ないのです、露國の將來に對しては何等の期待をも持つて居ないのです、

安中萬三郎（一）

第二十八回

父の介錯で

猫遊軒伯知講演

半ヂア大藩、殉ての歌藩ちや岳藩で自慢いたす。其外も武士の嫡、未練のないやうに往生いたして呉れよ、何うせ此世で添はれぬ縁、早う彼岸の夜度をせよ」と促されてお腹はハイとばかりに夫の顔に晩き膝、見事に自害は殉ての歌藩のこと、みな様の御上手で歌藩の名に恥じぬ様にと励ましなる、とは申せ、武士の世の最後を飾るお腹に宿した我が子ことはございません、唯心に懸るお腹に宿した我が子のお胤、これも殿様の御軍でございませうが、離縁も御かぬ限に腹から生れた子供、殉死の場へやらねばならぬかと思へば殿様へやるのも可哀想でございます、今更未練がましいを申す訳ではございませんが、一目なりとも我が子の顔を見てから、と心ばかりの供養をしてやりたいと存じます」と縁側を背に取縋して、髷朗りに竪三郎と、ホロリと漏す一雫、これが此世の別れかと思へば急ぎ来る涙の雨、拭くてはならじと心を鬼に取直し「然らば御介錯仕らう」と我が腰の脇を目掛けて突立てやうとする御殿「コレ〳〵暫らく〳〵」飛込んで参りましたのは、父の樹右衛門、娘の心中を察して「殿様の御介錯は武士の嫡子たる者の勤めぞ、未練な心掛けでございます、孫三郎殿、さあ〳〵御介錯仕らう、さあ〳〵」と急き立てる、孫三郎殿「ハイ何父さまでございますやうに、孫三郎殿

東拓事業の内容

南洋は豫期以上の好成績

賀田氏の逝去は財界の困事

川上東拓理事談

自分の此度の用務は主として東洋實業の整理に關する事である、整理方針としては自分も先づ研究して最も現下の實情に適當と認めた案を樹てたが多分其方針によつて整理さるゝ事になるであらうが兎に角整理事業の實行を得ねばならぬので前後數月中に總會に提出して承認を求むる筈である、本社の事業としては今春總會に本社の事業が如何に發展であるかを世間に認めしむる事に努めて居つたが、其の總會に續いて今後も尚一層事實なる方針によつて進む筈である。

南洋の事業

は著々進行して居るが、殊に大きいのは椰子栽培で、來る數年を經て見ないでは分らないが、此事業も亦た有望なる方針によつて進む筈である。

加州金三郎氏が逝去して

後に殘つた同氏は實に期米相場を一手に動かした樣の人で日本內地の外に於ても米穀取引に關係した地は勿論、殊に桑港、ホノルルの如きは同氏が經營した事業が非常なもので今後同氏に期待する點が尠なからざるに於ても實に殘念である。

**鈴木商店の破綻後、其の大部分は三井物産會社の手に引受けられ、其の大部分は三井物産會社の手に引受けられ、其の大部分は三井物産會社の手に引受けられ

夜明前

（78）

室津鯨太郎
守田かずを畫

幕近を山頂（二）

「私は男の自由にはならない私だから」

と鯨太郎は吐き出すやうに言つてから、また鯨の方に向き直つて、

「お客だ、あれは客ではあるまい」

「お客です」

「何と言ふ男だ」

「そんな事お客（しなくとも好いことです」

「よう言ふまい、あれは市川楽十郎といふ役者ではないか」

「役者であらうが何であらうがお客です」

「お客ではない、お前が連れて来て居る情婦なんだ、已はちやんと知つてるんだよ、そんな嘘言を言つたつて駄目だ、心配して居るんだ、お客だなんて厚顔しい嘘言だ」

「嘘言は何うせ嘘言をいふに定つてゐます、貴方だつて私を騙したんぢやありませんか」

「已がお前を何時騙したんだ」

「もうお忘れになつたんですか、厚さんが不具者だなんて、それこそ嘘言だらう」

「嘘だつて好いぢやないか、まあこんな所では話が出来ない、姫子まで連れて来い、さあ来い」

斯う言はれると鯨太郎は一寸返事に困つたらしく、くつと踏つて眼を行かうよ、鶴かな濃厚なんだよ、そ

の櫛巻を取るやうに。

「まあそんなにこんな処で喧嘩みあつたつて致方がない、ゆつくり話すにしやう、此方へおいで」

と彼は左手の山道へと曙りやうとした。

「何処へ行くんですか」

と鯨香は動かうともしないで、ま

だ少しぶりくした態度を見せた。

「姫子へ行つて酒機へでも報らうよ」

「可けませんたら、私は一人ではありませんですよ、お客様と一緒なんですよ」

「其のお客は何処に居るんだ」

「何処にだつて大きにお世話ですよ」

「鯨楽屋で待つて居る筈十郎の事

「もう好うございます」

「嘘だつて好うございます」

「嘘言は何うせ嘘言をいふに定つてゐます、貴方だつて私を騙したんぢやありませんか」

「已がお前を何時騙したんだ」

「嘘言は何うせ嘘言をいふに定つてゐます、貴方だつて私を騙したんぢやありませんか」

「已がお前を何時騙したんだ」

贈答品
中元
世界の珍菓ロシヤ飴製賣
百城及朝鮮金道の雑貨店、菓子店、食料品店
京城明治町二ノ七五
森内商店
（電二六二三）

小児科病院
醫學士　森定吉

種の発物は（龍山三角地の）
京都出張
新見本
京屋京染店
長電話七五二番
振替京城八番

京城旭町一の四七
園藝
園藝業屋で待つて居る筈十郎の事

京城明治町二ノ七五
森内商店
（電二六二三）

京城旭町一の四七
園藝